平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年２月８日

上場会社名　　株式会社ハピネット　　上場取引所　東
コード番号　　7552　　ＵＲＬ　http://www.happinet.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）苗手　一彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役最高財務責任者　　（氏名）浅津　英男　　ＴＥＬ　03-3847-0410

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月12日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	137,683	△12.6	2,982	△38.3	3,076	△38.2	1,995	△15.4
24年３月期第３四半期	157,618	5.8	4,832	67.4	4,977	65.5	2,358	57.2

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　1,934百万円　（△13.1%）　24年３月期第３四半期　2,226百万円　（67.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	89.06	88.83
24年３月期第３四半期	105.26	－

（注）平成23年12月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成24年３月期第３四半期の１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	66,055	23,125	35.0
24年３月期	54,323	21,795	40.1

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　23,102百万円　24年３月期　21,777百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	22.50	－	16.25	38.75
25年３月期	－	11.25	－		
25年３月期（予想）				11.25	22.50

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
２．平成24年３月期期末配当金の内訳　記念配当　５円00銭
３．当社は平成23年12月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。そのため、平成24年３月期第２四半期末の１株当たり配当金は、当該株式分割前の数値で記載しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合、平成24年３月期第２四半期末の１株当たり配当金は11円25銭となります。

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△14.2	2,900	△40.3	3,000	△40.4	1,800	△26.8	80.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　有

④　修正再表示　：　無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	24,050,000株	24年３月期	24,050,000株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	1,637,310株	24年３月期	1,647,990株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	22,403,678株	24年３月期３Ｑ	22,402,448株

（注）平成23年12月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、欧州の債務問題による世界景気の減速等の影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ソフト配信やソーシャルゲームの影響によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましては、最大の商戦期でありますクリスマス商戦において、一部のキャラクター商材が好調に推移しているものの、市場全体を牽引するようなリード商材がなかったことなどにより苦戦を強いられました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,376億８千３百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は29億８千２百万円（同38.3%減）、経常利益は30億７千６百万円（同38.2%減）、四半期純利益は19億９千５百万円（同15.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業は、バンダイのキャラクター商材で「仮面ライダーウィザード」が好調に推移しているものの、トレーディングカード等の苦戦により、玩具事業全体では前年同期を下回って推移いたしました。

この結果、売上高は593億３千５百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は20億９千５百万円（同29.9%減）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、インターネットを利用した配信等の普及によりパッケージ市場全体が低迷する中、当社グループにおきましても苦戦を強いられましたが、利益面に関しましては、事業の効率化による滞留在庫の削減等により、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は335億９千９百万円（前年同期比22.0%減）、セグメント利益は４億１千４百万円（同18.3%増）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、新型ゲーム機の発売や、一部ヒット作があったものの、ソーシャルゲームの普及の影響等により苦戦を強いられており、当社グループにおきましても低調に推移いたしました。

この結果、売上高は296億８千３百万円（前年同期比16.7%減）、セグメント利益は６億３千１百万円（同33.5%減）となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、玩具自動販売機商材やキッズカードゲーム機で昨年を上回る商材がなかったことにより、前年同期を下回りました。また、利益面に関しましても、在庫評価減の実施などにより低調に推移いたしました。

この結果、売上高は150億６千６百万円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益は８億３千７百万円（同47.1%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ117億３千２百万円増加し、660億５千５百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金等の流動資産の増加125億３百万円によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ104億２百万円増加し、429億２千９百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金等の流動負債の増加103億４千２百万円によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13億２千９百万円増加し、231億２千５百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加13億７千８百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月９日の「平成25年３月期第２四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,359	5,862
受取手形及び売掛金	26,755	42,602
たな卸資産	6,168	8,626
その他	3,055	3,761
貸倒引当金	△69	△81
流動資産合計	48,269	60,772
固定資産		
有形固定資産	1,392	1,248
無形固定資産		
のれん	539	308
その他	1,176	830
無形固定資産合計	1,715	1,139
投資その他の資産	2,946	2,895
固定資産合計	6,054	5,283
資産合計	54,323	66,055
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,042	34,290
未払法人税等	1,605	757
賞与引当金	472	114
その他の引当金	36	46
その他	4,459	4,752
流動負債合計	29,617	39,960
固定負債		
退職給付引当金	1,780	1,866
その他	1,129	1,102
固定負債合計	2,909	2,969
負債合計	32,527	42,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	17,213	18,592
自己株式	△1,091	△1,084
株主資本合計	21,649	23,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128	67
繰延ヘッジ損益	0	0
その他の包括利益累計額合計	128	67
新株予約権	17	21
少数株主持分	1	1
純資産合計	21,795	23,125
負債純資産合計	54,323	66,055

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	157,618	137,683
売上原価	137,891	120,241
売上総利益	19,727	17,442
販売費及び一般管理費	14,894	14,460
営業利益	4,832	2,982
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	25	21
負ののれん償却額	25	15
その他	100	61
営業外収益合計	152	100
営業外費用		
支払利息	3	3
その他	4	1
営業外費用合計	8	5
経常利益	4,977	3,076
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	－	6
会員権売却益	1	－
特別利益合計	3	6
特別損失		
固定資産売却損	7	21
固定資産除却損	1	20
投資有価証券売却損	1	7
投資有価証券評価損	1	31
会員権評価損	0	7
会員権売却損	1	－
減損損失	643	28
災害による損失	29	－
特別損失合計	687	117
税金等調整前四半期純利益	4,293	2,966
法人税、住民税及び事業税	1,969	1,038
法人税等調整額	△34	△67
法人税等合計	1,934	970
少数株主損益調整前四半期純利益	2,358	1,995
少数株主利益	0	0
四半期純利益	2,358	1,995

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,358	1,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	△61
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益合計	△131	△60
四半期包括利益	2,226	1,934
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,226	1,934
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	61,739	43,089	35,652	17,135	157,618	－	157,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	61,739	43,089	35,652	17,135	157,618	－	157,618
セグメント利益	2,991	350	949	1,584	5,876	△1,044	4,832

（注）１．セグメント利益の調整額△1,044百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,044百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」及び「アミューズメント事業」セグメントにおいて、無形固定資産のソフトウェアについて、６億４千３百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	59,335	33,599	29,683	15,066	137,683	－	137,683
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	59,335	33,599	29,683	15,066	137,683	－	137,683
セグメント利益	2,095	414	631	837	3,980	△998	2,982

（注）１．セグメント利益の調整額△998百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△998百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の各報告セグメントのセグメント利益に与える影響は軽微であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものはありません。